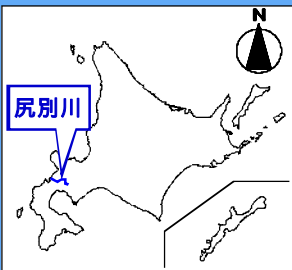


# 尻別川流域治水プロジェクト【中間とりまとめ（案）】

～国際リゾート地“ニセコ”観光圏エリアの魅力と暮らしを守る治水対策の推進～

令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、尻別川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、尻別川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和50年8月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



## 河川における対策

対策内容 河道掘削、堤防整備、河口部対策、地震津波対策 等

## 流域における対策

- ・利水ダム等2ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:国、北海道、町、電力会社、土地改良区)
- ・浸水被害防止対策(内水排水施設、普通河川の保全)
- ・公共施設の浸水想定区域外への設置・耐水化
- ・水防資機材の配備
- ・今後、関係機関と連携し対策検討

## ソフト施策

- ・防災教育の実施
- ・タイムラインを活用した関係機関との連携による訓練の実施
- ・水防訓練の実施
- ・水害リスクが高い箇所の共同点検の実施
- ・今後、関係機関と連携し対策検討



北海道管理河川(一級河川指定区間)

尻別川、ルベシベ川 等

昭和50年8月台風第6号(三和築堤浸水状況)  
被害家屋408戸、田畑流出浸水3,508ha



**凡例**

- 流域界
- 河川、湖沼
- 主要道路
- 鉄道
- 市街地
- 浸水範囲
- 市町村界
- 国管理区間

(S50.8月実績(戦後最大))

具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。  
河口部については、モニタリングを継続し、必要に応じて対策を行う。